

- 1 会議名 全員協議会
- 2 日時 令和6年9月24日(火)  
午前10時から午前10時48分まで
- 3 場所 第2・第3委員会室
- 4 出席議員 全議員
- 5 出席者 副市長 柴田義晴  
総務部長 中村定秋、総務部専門監 齋藤元英、市民協働部長 伊藤新治、福祉部長 長谷川忍、健康こども未来部長 西井上剛、消防長 岡本康弘、教育部長 石川文子  
企画財政課長 佐野剛、同主幹 井手上豊彦、行政課長 兼松英知、同統括主査 宇佐美祐二、こども家庭課長 神山秀行、都市整備課長 加藤淳、同統括主査 大徳康司、同主査 太田貴之、学校教育課長 中野高歳、同学校給食センター所長 佐藤さとみ
- 6 事務局出席者 議会事務局長 丹羽至、同主幹 田島勝己
- 7 議長あいさつ
- 8 副市長あいさつ
- 9 報告事項

(1) 一部事務組合議会の経過報告

①小牧岩倉衛生組合議会

代表議員 須藤議員：資料に基づき説明

【質疑】

木村議員：報告資料の質疑で、委託のやり取りをしている。委託の班の中に一人正規職員が常駐するということになっているが、正規の委託の状態になっているのか、偽装請負になっていないか心配なやり取りである。指示・命令権がしっかりしていればよいが、この文章だと常駐して監視しているという言い方なので心配である。担当の職員に後でよいので説明に来てほしい。

須藤議員：小牧岩倉衛生組合に確認し、担当部署から回答をしてほしい。

市民協働部長：確認して報告する。

②愛知県尾張水害予防組合組合会

代表議員 梅村議員：資料に基づき説明

【質疑】

大野議員：五条川の改修工事の促進の要望について、以前と変わっているのか。当局へのお願いだが、再度要望内容を議員に公開できないか。

梅村議員：当局へ申出されたが、私も要望書をもらっているのので、事務局を通じて議員へ配付するようにする。東町、神野町の関係はどちらかというと大口町や江南市の要望とあわせてやっており、この件についての具体的な回答報告はなかった。詳細が知りたい方は水害予防組合の事務局へということも言われたので、聞くとよいかもしれない。とにかく下流の方から順に掘ってきているというところは変わらない。

(2) 執行機関からの報告

① 9月定例会に追加提出予定の議案について

健康こども未来部長：議案について資料に基づき説明

【質疑】

なし

② 尾張一宮 P A スマート I C (仮称) の準備段階調査の着手について

都市整備課長：資料に基づき説明

【質疑】

木村議員：以前も表が出て聞いていると思うが、今後のスケジュールで、大体の概算スケジュールはないのか。大まかで一般的なものでよい。

都市整備課長：今後のスケジュールは、設置検討場所、アクセス道路がまだ決まっていない状況なので言及しづらいが、今回、準備段階調査と事業化が国土交通省で公表された箇所は6箇所ある。その6箇所については全て昨年の準備段階調査の採択を受けた所が今回の事業化になっている。ベースとして準備段階調査から事業化まではスムーズにいて1年でいけるかと考えている。その後の開通等があるが、これについては用地買収や工事が入るのでスケジュールとして明確に示せない。両市として鋭意努力してまいりたい。

水野議員：準備会の構成メンバーとその後の地区協議会の構成メンバーは違うのか、大体同じなのか。

都市整備課長：準備会の構成メンバーは、一般的には国・地方自治体・高速道路会社 N E X C O 中日本で組織されると聞いている。その後の地区協議会構成メンバーについても準備会と同様に関係機関で組織されると聞いている。

片岡議員：準備段階調査から事業化に認可されたものが今回6件あるが、1件事業化がされていないところがある。当局は原因をつかんでいるか。

都市整備課長：昨年度は準備段階調査採択が7件あり、山陽自動車道の高陽が事業化されていない。まだ理由については把握していない。今後、事業化へのスケジュールは重要になってくると考えているので、そういうところもあわせて調査をしていきたい。

③ その他

- ・令和7年1月26日執行岩倉市長選挙立候補予定者説明会の日程について

行政課長：12月8日(日)午前10時から岩倉市役所7階大会議室で行う。

周知については広報11月号、ホームページへの掲載とあわせ、本日報道機関へ周知を行う。

【質疑】

なし

・岩倉市日本語・ポルトガル語適応指導教室令和6年度岩倉市日本語教室  
公開のご案内  
学校教育課長：資料に基づき説明

【質疑】

なし

(3) その他

なし

#### 10 協議事項

・地方議会議員の厚生年金加入に関する意見書の提出について

関戸議長：今年は一宮市議会議長が全国市議会議長会の副会長となっており、意見書提出の依頼が来ている。近郊では犬山市やあま市が未提出であり、全員協議会で協議の結果、提出しないこととなったとのこと。岩倉市では代表者会議で協議し継続事項となっている。意見書の内容について資料に基づき説明。この件について引き続き継続事項としてよいか。  
(異議なし)

関戸議長：継続事項とする。

#### 11 その他

・学校給食の米の問題について

塚崎議員：米不足が顕著になっている。子ども食堂を運営しているが、米が高くて買えず、子育て世代の負担にもなっている状況である。伊藤議員の一般質問の答弁にもあったが、確実に学校給食の米を確保できるのか。また、米の価格高騰による給食費の値上げを心配する声がある。分かっていることを教えてほしい。

学校教育課長：給食の食材のうち、米飯・パン・麺等の主食と牛乳は、基本物資ということで公益財団法人愛知県学校給食会に納入を委託している。米飯についてはJA愛知経済連との連携によって各地域の農協の生産米を確保しており、その米を使用して炊飯工場から各学校に配送される。必要とされる米の量は確保できているため、学校給食会からは現在のところ不足が生じることはないを確認している。金額は年度ごとの単価契約をしているため影響ない。給食費への影響としては、米に限らず物価高騰の煽りを受けているのが現状。今後の物価の状況によっては検討・研究していかなければならない認識は持っている。

塚崎議員：1年間分の米の量は確保されていて、価格もその分は決まっている。ただ、次年度に関しては、価格のことは分からないが、量は確保できそうだということではよろしいか。

学校教育課長：次年度の価格は現状分からないが、恐らく上がるのではないかと推測している。